

会 期 令和8年9月25日(金)~30日(水) 会期中無休
午前11時~午後7時(最終日30日は午後5時まで)
作家在廊 会期中、全日在廊予定

会 場 柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階 03-3352-5118



子供の頃から、楽しそうに遊んでいる様に仕事をしている父ヒロさんの背中を見ていたものですから、自然にこの道に入った様な気がします。

この道に入ってみると、窯の温度がなかなか上がらなかつたり、焼成が上手くいかなく、窯全部が失敗であつたり、何を作っているかアイデアが出て来ない日が続いたりと大変な道であることが解りました。

でも、自分が楽しんで作らないと、皆さんにも楽しんでもらえないと思いますので、楽しくやり度いと思っております。

オブリジ 結界



← 45 cm →





銘々皿 桃姿釉

長いカウンターの席にこれが並んでいるのをイメージして…

潤 出品予定作品

●塩釉の窯で作った茶道具

ルリ塩釉、バサラ、万葉、
巖々、粉引

●桃^じ瓷釉による器

CUP 皿、酒器、片口、
泪壺（小壺）など

今、このピンクの器で
何を作るか
試行錯誤しているところです。

あじき 安食ひろ

昭和23年
島根県平田市に生まれる

昭和62年
田部美術館大賞

茶の湯の造形展 大賞

平成12年
田部美術館大賞

茶の湯の造形展 優秀賞

平成17年
インドにて茶会・個展開催

メトロポリタン美術館に作品収蔵

あじき 安食潤

昭和57年

島根県出雲市に生まれる

平成15年

岐阜県の熊谷陶料

（窯業原料会社）に就職

平成16年

地元出雲に帰郷

父 安食ひろのもとで修業

塩釉を引き継ぐ

令和2年

桃瓷釉を始める

令和4年

成羽美術館 PINK革命

WAKUWAKU 安食潤展

この世とは

逝くは
世とや

生まれける



一語に
逝くは
まな



メメント・モリをテーマに

骸骨の礼子茶

茶碗

い"各

骸骨の野点と

(211) 掛軸

字に納まる 仙像

シヤレコウハハ・古来・

魔除け・再成と表はる

縁起のよいものとして・江戸期
着物・不内・十物に愛用されて
11子

「名残りの茶会」のご案内

日時: 9月27日(日) 11:00 席入、13:00 席入

場所: 新宿 京懐石 柿傳 茶席 (柿傳ギャラリーと同じビルです)

東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビル

亭主: 安食ひろ

会費: 10,000円(税込)

申込: 別紙をご参照ください

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY



HP



Instagram